

<平成29年度 ハローオリピズム事業>

# オリンピック教室

実施報告書

広島県 福山市立福山中学校





現行の学習指導要領は平成21年（2009）4月に公示され、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されました。そこには、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されております。

これを受けて日本オリンピック委員会（JOC）では、平成23年度（2011）から、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエールド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められております。このようなオリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることも期待しております。

「オリンピック教室」の授業は、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。また同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

平成23年に施行された「スポーツ基本法」の前文の一部に「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習する内容は、まさにこの基本法に記された精神や態度等を日常生活の中へ具現化することを後押しするものであると考えています。

平成29年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）  
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成29年4月～平成30年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 50校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目  
運動の時間 (50分)



2時限目  
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施  
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります



## 1時限目

### 運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

#### 挨拶（5分）

#### 準備体操（10分）

#### 主運動（30分）

#### まとめ（5分）



自己紹介  
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動  
（作戦タイム等）を設け、  
生徒が考える機会を作る



運動の授業のまとめ

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

## 2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に  
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると  
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

### 座学の時間

#### 挨拶・自己紹介（10分）

#### オリンピックの価値を伝える（10分）

#### グループワーク（20分）

#### まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用  
した自己紹介



オリンピック自身の経験に  
基づく「オリンピックの価値」等  
を伝える



グループ（個人）ワークで  
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます



- 期 日 : 平成29年10月17日 (火)
- 場 所 : 福山市立福山中学校
- ク ラ ス : 2年1組 (38名)、2年2組 (39名)
- オリンピアン : 佐伯 美香 先生 (バレーボール・ビーチバレーボール)
- 授業のながれ : 運動の時間 (1時限、3時限)

## 1. 自己紹介～授業の目的確認



## 2. 準備体操



・佐伯先生から自己紹介。オリンピックバリューについて簡単に説明し、詳しいことは次の座学の時間で話すが、バリューやオリンピックを身近に感じてほしいと授業の目的を確認。運動の時間では、全力で取り組むこと、協力すること、助け合い励ましあうことを約束。バレーボール部員や先生に対しスパイクを打つデモンストレーションを実施した後、準備体操に移る。

## 3. 主運動



・6班に分かれて円陣パスを実施。1組は3分間、2組は2分間で連続してパスできた回数を競う。各回終了後、集合して回数と工夫した点を各班から発表した後、作戦タイムを設け、全2回実施。

## 4. まとめ



・円陣パスではみんな作戦を考えて話し合いながら一生懸命取り組んでくれていたことがよかったと伝え、授業冒頭に話した3つの約束を守れたか確認。次の座学の時間では佐伯先生の経験の話したり、みんなのオリンピックのイメージを聞いたりすると予告し、授業終了。

■ 授業のながれ： 座学の時間（2時限、4時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



・試合の映像を見せながら簡単に自己紹介をした後、競技について説明。バレーボールとビーチバレーボールでオリンピックに3回出場した経験を話しながら、オリンピックバリューについて説明し、コミュニケーションをとることや協力してくれる人、支えてくれる人への感謝の気持ちをもつことの大切さを伝える。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



・発問：自分の夢や目標を達成するために実践したいオリンピックバリューを考える。  
 ・発表：新人戦でベスト3に入るために時間を大切にして練習に全力で取り組む、挑戦する気持ちを忘れない(エクセレンス)、練習中にもコミュニケーションを取る(フレンドシップ)、対戦相手や使う道具にも感謝の心を持ってプレーする(リスペクト)等の意見が挙げられた。

4. まとめ



・オリンピックバリューはオリンピックだけに関係することではなく、グループワークで考えてくれた通り、皆の夢や目標の達成にも深く関わっている。なんとなく毎日過ごすよりも、夢や目標を持って努力をすることで人は輝くことができるので、自分自身を信じて、前向きに挑戦し続けてほしいと伝え、授業終了。

- 期 日 : 平成29年10月17日 (火)
- 場 所 : 福山市立福山中学校
- ク ラ ス : 2年3組 (39名)
- オリンピック : 橋 雅子 先生 (水泳・シンクロナイズドスイミング)
- 授業のながれ : 運動の時間 (5時限)

## 1. 自己紹介～授業の目的確認



・橋先生から簡単な自己紹介をした後、オリンピックバリューについてエクセレンスは挑戦すること、フレンドシップは仲間・絆、リスペクトは尊敬と説明し、運動の時間はこれらのバリューを意識して取り組んでほしいと伝え、準備体操へ移る。

## 2. 準備体操



## 3. 主運動



・2班ずつ3チームに分かれ8の字跳びを実施。制限時間90秒間で跳べた回数を競う。作戦タイムを60秒間設けた後、全3回戦実施。実施後、集合して各班から回数と工夫した点を発表する。  
 ・クラス全員で大縄跳びに挑戦。作戦タイムを2分間設け、挑戦は5回のみとし、1回跳ぶことができた。

## 4. まとめ



・運動の時間の取り組み姿勢 (全員で協力していたこと、声を掛け合っていたこと、フォローしあっていたこと等) がオリンピックバリューに当てはまっていたと伝え、次の座学の時間では橋先生の経験も踏まえ、さらにバリューについて説明をすると話し、授業終了。



■ 授業のながれ： 座学の時間（6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



・フリーコンネクションの映像を見せながら競技について説明。橘先生が競技を始めてからオリンピックに出場するまでの経験を交えてオリンピックバリューについて説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



・発問：夢や目標を実現するために実践したいオリンピックバリューを考えよう。  
 ・発表：集中して練習に取り組む、後悔ないように挑戦し続ける(エクセレンス)、部活で仲間と競い高め合う、仲間と絆を深める(フレンドシップ)、習い事を続けさせてくれた親に感謝する、感謝の気持ちを言葉で伝える(リスペクト)等の意見が挙げられた。

4. まとめ



・オリンピックバリューについてたくさん意見を出してくれたように、これから先につらいことがあった時に今日の授業を思い出してほしい。感謝の気持ちを伝えることで、自分を支えてくれる人が増えるので、実践してほしいと伝える。  
 ・東京2020大会では、オリンピックを身近に感じて、選手として出場する、ボランティアとして参加する、テレビで応援する等オリンピック携わってほしいと伝える。橘先生は今日皆に出会えたことにも感謝していると話し、授業終了。



■ 集合写真

2年1組



2年2組





■ 集 合 写 真

2年3組



■ 記 念 品 贈 呈

2年1組



2年2組



2年3組



■ 証 明 書 贈 呈

